

# ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所  
士別市東7条9丁目  
Tel0165-22-3100  
fax0165-23-4356

## 災害復旧や被災者支援を一般質問 代替自動車取得税減免

### ハザードマップ見直し、道支援で

8月上旬から中旬、下旬にかけて、6つの台風が北海道に上陸もしくはは通過し、北海道は甚大な被害に見舞われました。

### 維持予算は2/3に

特に、北海道の管理河川の氾濫による影響が甚大であり、このことは長年の維持管理への課題等が浮き彫りになった災害と言っても過言ではないのです。



一般質問で災害対応と被災者支援などを質問(9月28日)



河川と化した美瑛町置杵牛地区の水田

道路や河川等の維持管理予算は、厳しい北海道予算の影響を受け、平成14年度当時の3分の2にまで減額され、十分な維持管理ができていない状況です。北口道議の維持管理のあり方に

ついでに質問に対し「河川内の樹木の伐採などについて、早急に対応する」との答弁がなされました。

また、道管理の河川の浸水想定区域を早期に設定し直すとともに、各市町村の洪水ハザードマップ作成を支援する考えを示しました。

### 自動車も被災

今回の災害では、多くの自動車も被災しました。南富良野町役場では、「町内で140台以上のマイカーが被害を受け、町外や営業車を加えると、200台を超えるのではないかとこのことです。北口道議の事務所にも「代替自動車の取得税について減免を」との声が寄せられ、一般質問で知事の考えを質しました。

答弁では、「他府県の減免の取扱状況を早急に把握し、その可否について検討」と答え、他府県の調査の結果、代替自動車取得税の全額を減免することとなりました。減免手続きは、被災から6

ヶ月以内に代替え取得した自動車に限られ、罹災証明や抹消証明書などの書類を添付する必要があります。



多くの自動車も被災(南富良野町)

### 利水ダムの活用

ダムには、洪水を調整する治水ダムと発電や農業用水などを目的とした利水ダムがあります。

大雨が予想される場合、災害をより低減するため、利水ダムの水位を事前に下げ、治水ダムとしての役割を持つよう質問し、「利水ダムの運用を含め、被害の軽減に向けての取り組みが重要」との認識が示されたところであり、今後新たな視点での議論が必要です。

### 第3回定例道議会報告(9月13日~10月7日)

北海道は、8月から9月にかけて台風7号、11号、9号が相次ぎ上陸、さらに台風10号が接近し、その前後にも記録的な降雨が続き、河川の氾濫等によって、死者4人、行方不明者2人などの人的被害をはじめ、全道的に、広範で甚大な被害が発生。本道での天候災害としては、昭和56年の、いわゆる「56水害」と並び規模の被災となりました。

#### 災害対応に全力

北口道議は、民進党本部や民進党北海道等と連携して被災各地の調査等を行い、被災者の生活再建、農業や中小企業等の支援を速やかに進め、今後災害を繰り返さないための一般質問も行いました。

#### 地域交通を守る！

また、道内交通ネットワークも大きな議論となりました。JR北海道は、「JR単独では維持が困難な線区」を公表し、沿線自治体と協議したいとの意向を示しています。また、道は、国の求めに応じて、道内13空港のうち7空港を一括して民間委託する検討を進めています。地

予算特別委員会第2分科委員長として補正予算案を審査(10月3日)



域にとっても北海道全体にとっても、極めて重要な課題であり、道の主体的かつ責任ある対応が必要になります。

#### 災害対策650億円

今定例会での補正予算は、当初提案が道投資単独事業費48億円など一般会計58億8200万円、特別会計2億800万円。9月28

|         | 一般会計          | 特別会計        | 合計            |
|---------|---------------|-------------|---------------|
| 既決予算額   | 2,827,590,727 | 628,406,724 | 3,455,997,451 |
| 3定提案額合計 | 193,146,420   | 857,542     | 194,003,962   |
| 冒頭提案額   | 5,882,578     | 207,542     | 6,090,120     |
| 中間提案額   | 65,043,006    | 74,000      | 65,117,006    |
| 最終提案額   | 122,220,836   | 576,000     | 122,796,836   |
| 合計      | 3,020,737,147 | 629,264,266 | 3,650,001,413 |

日に災害対策補正予算として一般会計650億4300万円、特別会計7400万円を追加提案。さらに、10月7日の会期末には国の経済対策に応じて一般会計1222億2100万円、特別会計5億7600万円を追加提案しました。これで、平成28年度北海道予算総額は、一般会計3兆207億円、特別会計6293億円の合計3兆6500億円となりました。

#### 依然厳しい道財政

一方、27年度の道一般会計決算は、形式収支で69億9500万円、実質収支で44億6千万円の赤字。地方公共団体財政健全化法に基づく健全化判断比率は、実質公債費比率が20.6%、将来負担比率が307.7%、なおも厳しい状況が続いています。

#### 採択された決議・意見書

◆朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験

に抗議する決議

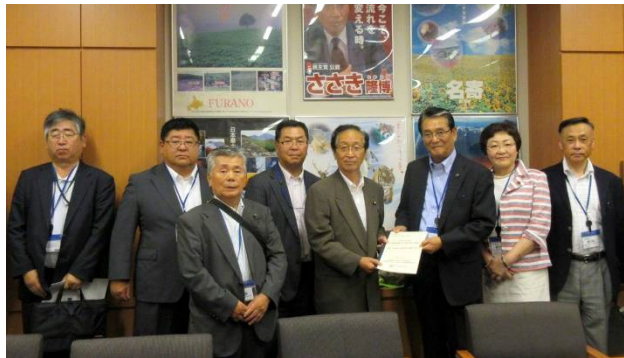
- ▼朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に関する意見書▼台風7号、台風9号、台風10号、台風11号及び平成28年9月における前線による災害対策に関する意見書▼緊急防災・減災事業債制度の恒久化等を求める意見書▼TPPに関し丁寧な説明と慎重な審議を求める意見書▼新たな国民健康保険制度の円滑な実施を求める意見書▼別居・離婚後の親子の断絶を防止するための法整備を求める意見書▼朝鮮民主主義人民共和国による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書▼地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書▼北方領土問題の解決促進等に関する意見書▼「米政策改革」に対する稲作農家の不安を払拭し経営の安定と担い手経営の再生産の確保を求める意見書▼介護保険サービスの適切な確保と介護従事者の処遇改善を求める意見書



道立北見病院落成記念式典で挨拶(7月21日)



北海道知的障がい児・者家族会から要請(7月20日)



林活議連役員として中央要請(7月27日)



北海道がんサミット2016で挨拶(7月24日)



千鳥ヶ淵墓苑、戦没者追悼式に参列(8月15日)



塩崎厚生労働大臣に要請(8月4日)



上川管内水泳少年団大会で挨拶(9月11日)



福岡市での全国地方議員交流会(8月18日)



士別地域日台親善協会設立(9月9日)

・下川町民登山会で黒岳登山(8月11日)



写真で振り返る北口道議の活動記録(7月~9月)

# 北口ゆうこう奮闘日記

<http://y-kitaguchinet/>

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(7月～9月分)



JR宗谷線存続に向け要請を受ける

◆7月25日【JR宗谷本線維持・存続要請】▼今日は、宗谷本線活性化推進協議会(会長＝加藤剛士名寄市長)から、宗谷本線の維持・存続に向けたJR北海道への支援に対する要望をお受けした▼宗谷本線活性化推進協議会は、旭川から稚内を貫く宗谷本線を抱える地域の自治体・議会・経済界の20自治体で組織され、今日は

会長である加藤剛士名寄市長をはじめ、各市町村長、議長会議長など、約40名から要請をいただいた▼1987年の国鉄分割民営から30年、その分割のあり方などのひずみが地方を切り捨てるところになりかねなく、分割民営そのものの意義やあり方についての議論が必要。地域を守るためにも、鉄路の維持・存続についてしっかりと努力する決意だ。



美瑛町置杵地区の災害現場を視察

◆8月25日【美瑛町の災害現場を視察】▼今日は、先の台

風で大きな被害を受けた美瑛町の置杵牛地区を視察した。この地域は、道管理河川である置杵牛川が氾濫し農地を侵食、甚大な被害を受

けたのである。今後、道と連携し、来年の営農に向け、しっかりと対応していきたい。



TPP 批准阻止全道集会でデモ行進

◆8月31日【TPP批准阻止全道集会】▼北海道農民連盟

(石川純雄執行委員長)主催の「官邸主導の農政改革とTPPに断固反対する全道農民集会」が旭川市で開催され、私も参加してきた▼TPPに断固反対する全道農民集会では、まず緊急決議として『台風などによる農作物等被害対策に関する決議』を決議。続いて、『農業・農村を崩壊させる官邸主導の農政改革とTPP国会承認の断固反対を求める決議』、『担い手農家を置き去りにした「米政策改革」の

抜本的見直しを求める決議』、『指定団体の堅持など酪農政策の確立を求める決議』、そしてこれらの『実行方策について』を全会一致で決議した。その後、参加者全員で約2kmをデモ行進し、旭川市民にTPP反対を訴えたところだ。



南富良野町の災害現場を視察

◆9月5日【南富良野町の被災現場を視察】▼今日は、山尾志桜里民進党政調会長(当時)、佐々木隆博衆議、鉢呂吉雄参議、市橋修治道議(後志地域)とともに、台風10号で甚大な被害を受けた南富良野町を視察▼池部町長、植崎JAからの組合長からは、ポテトチップス工場や農地が河川と化した

状況の説明を受け、その後被災現場を視察し、一日も早い対応をお約束した▼また、町内で泥の排出や清掃などのボランティア活動をしていただいている皆さんを激励させていただきました。

## 【おまじ】

▼「影響は限定的。ご安心ください。」これは、昨年10月5日に大筋合意したときの政府の説明である。しかし、その影響試算の信頼が揺らいでいる▼国が管理する主食用輸入米で、輸入業者が卸売業者に「調整金」といわれるリベートを渡したことが判明。これが事実であるとすれば、米価に影響するのは必死である▼しかし国は、リベートの存在は認められたものの、「国産米の需給や価格に影響を与えた事実を確認できない」との調査結果を発表▼安易な幕引きは許されない。TPPによる影響試算で輸入米は、「SBS方式(売買同時契約)で、より輸入米の適正な市場評価を得られる」と説明してきたが、その説明が揺らいでいるのだ。TPP批准議論の前に、この問題の徹底的な究明が求められる。(ゆうこう)